

水稲育苗用ロックウールマットの効果確認試験

JAあさひかわ

今野 雅義



0422①



0422②



0422③



0422④



0422⑤

試験目的

水稲育苗用ロックウールマットの効果確認試験

試験作物 及び品種

水稲育苗 マット 品種(ゆめぴりか)

試験資材 及び数量(規格)

こめパワーマット

慣行資材

培土(自家培土)

栽培方法

播種日

4月21日

田植日

5月16~17日

収穫日

9月18日

資材使用期間

慣行区:4月21日~5月16~17日
試験区:4月21日~5月16~17日

試験区面積

90坪

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

播種時の作業性:播種機で1L、並べて1L強を灌水した。床土と比べ軽かったので箱並べ作業も楽になった。

灌水方法:芽が出る時、マット内に水があるにもかかわらず灌水してしまったため芽出しのばらつきがでた。

田植え時:軽いため、搬出作業や田植機に乗せる作業が楽だった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

生育は慣行区と同様だった。

水をかけすぎたことにより、立ち枯れ・水やけが多少発生した。灌水方法は慣れもあるが、改善が必要。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】:軽い。灌水回数を減らすことが出来る。

【問題点】:マット箱に入れるのがマットサイズとピッタリのため、多少苦勞した。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

特に問題なし。

モニター感想

灌水方法は年(天候)によって変わってくる。慣れるまで少々時間がかかるが、慣れてしまえば軽くなるというメリットは大変大きいので使用したい。

来年も購入し、チャレンジしたいと思う。

JA担当者の感想(購買部購買課 金屋主査)

1生産者あたりの水張面積が増加傾向にある中、生産者の労働力軽減につながるこの資材は有用であると思う。しかしながら、灌水方法は既存の方法と異なり、コツがいるため、きちんと理解し、生産者に進めたい。

今後の使用について

継続して使用したい。

1 梨地フィルム
2 マルチ

3 不織布

4 育苗資材

5 遮光ネット

6 防草シート

7 酪農資材

8 ICT機器

9 その他